

市文組織図



—文学部—

哲学歴史学科

- 哲学コース
- 日本史コース
- 世界史コース

人間行動学科

- 社会学コース
- 心理学コース
- 教育学コース
- 地理学コース

言語文化学科

- 国語国文学コース
- 中国語中国文学コース
- 英米言語文化コース
- ドイツ語フランス語圏言語文化コース
- ドイツ語圏言語文化領域
- フランス語圏言語文化領域
- 言語応用コース
- 表現文化コース

—大学院文学研究科—

哲学歴史学専攻

- 哲学専修
- 日本史学専修
- 東洋史学専修
- 西洋史学専修

人間行動学専攻

- 社会学専修
- 心理学専修
- 教育学専修
- 地理学専修

言語文化学専攻

- 国語国文学専修
- 中国語中国文学専修
- 英米言語文化学専修
- ドイツ語フランス語圏言語文化学専修
- 言語応用学専修
- 表現文化学専修

アジア都市文化学専攻

1949年：法文学部文科学科創設（文学部の前身）

1953年：文学部創設

1954年：修士課程設置

1955年：博士課程設置

1968年：5学科12専攻

1999年：3学科15コースに改編

2001年：正式名称が「大阪市立大学大学院文学研究科・文学部」に

2002年：世界最高水準の研究教育拠点をめざす文部科学省の「21世紀COEプログラム」に採択される

2010年：3学科13コース（文学部）
4専攻15専修（文学研究科）

Our stories ever go on……

文学部の歴史

言語文化学科は、言語を通して人間にアプローチすることで、人間が作り上げた文化を探求します。わが国、アジア地域、また欧米諸地域の文学や、思想関係の文献を読み、言語の姿や仕組みを考察します。また、言語と関係する文化、例えば演劇や音楽、映画なども分析の対象とします。こうした作業を通じて、人々がこれまで何を考えてきたか、現在何を考えているのか、そして今後どのような新しい考えを打ち出すのかを探ります。

言語文化学科

人間行動学科は、観察・調査・実験といった科学的方法に基づいて、人間の行動や私生活をとりまく社会・環境、そして両者のかかわりについて、さまざまな角度から明らかにしていきます。人間行動学では、各コースそれぞれの学問分野を中核としながら、それらを有機的に結びつけた独自のカリキュラムを提供することにより、「人」とその「環境」の複雑さを、様々な視点から理解していくことのできる人材の育成をめざしています。

人間行動学科

我々は何者なのか？どこから来て、どこへ向かって進んでいくのか？新しい世紀を迎えて、従来の文化的・社会的伝統の克服が求められています。しかし、我々人間が歩んできた道のりがどのようなものであったのか、人間とは何者であるのか、を理解することなしに、私たち自身の未来の明確なイメージを描くことは、できないでしょう。哲学歴史学科は、人間のアイデンティティーにかかわる根本的な問題について、ともに考えてゆくことをめざしています。

哲学歴史学科

学科紹介

<To>
Osaka City University
Faculty of
Literature and
Human Sciences

<Departure time>
whenever you want



巻頭特集 文学部長 Interview

インタビュアー（以下イ）…文学部の魅力は何ですか？

池上先生（以下池）…自分の興味や関心に素直に従って楽しく学ぶ、でも楽しいだけでなく物事を深く考えることが大切で、例えば歴史とか文学とか現象的なことにとどまらずに、それらを生み出した人間のことを考えるといったようにですね。文学部は、実利を離れたところで物事を純粋に探求したいという学生や教員が多いので、互いに影響しあって学んでいるのではないのでしょうか。

んじゃないの？とか言われることが多い文学部ですけど、そういうものを越えてたくさんのことを考えることができる土壌があることが文学部の魅力の一つだと思いますね。また、コースに非常に幅があるというのも魅力かな。文献だけではなくて実践的なアクティビティのある領域もあるし……。行動科学系と言われているような体系的な要素も包摂しているような学部ですね。非常に奥が深い場所だと思います。



池上知子先生
大阪市立大学文学部長
同大学院文学研究科長
心理学コース・専修 教授

イ…どんな人に文学部に来てほしいですか？

池…近視眼的に就職に有利だとか、これやっておくと得だとか、そういうことではなくて、もっと自由な、広い視野で色んなことに興味を持って人に来てほしいですね。自分の頭で考えてくれる人かな。教員からは色々教えてほしいのだけれども、指示を待っているだけじゃなく

自分から「こんなことをやりたい」ということを先輩や教員に自発的に働きかけていくような主体的な人に来てほしいと思っています。

イ…二回生からコースに所属するということのメリットは何だと思いますか？

池…志望大学を決める際、高校でやりたいことは大体イメージしていると思うのですが、高校までのイメージと大学での学問とは少し離れていることが多いのですよ。歴史も暗記だけでなく、自分で知識を発掘したり、とかね。

イ…最後に一言お願いします。

池…文学部はお宝がいっぱいある穴場ですよ。言うなれば、トレジャーランド、ですね。

イ…ありがとうございました！

インタビュアー
森下佳奈（二回生）
高嶋久乃（言語応用コース三回生）

